



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

「全員参加の教会」を目指して

鹿兒島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さま、お元気で
しよるか？
新型コロナウイルス禍、自然災害
等、心配事が多い中、希望
を失わずに前進してまいり
ましょう。

は、信仰、典礼、宣教とい
う3つのテーマは、それぞ
れが独立しているのではな
く、お互いが密接に繋がっ
ているということでした。

3. この3部会は、決し

最後に、上記の提案の神

教区費などの収入減での予算承認 今年の教区経済問題評議会

さて、皆さまのお手元
に、「教区シノドス提言
集」が届いているでしょう
か？ これは、2019年
10月に開催された教区シノ
ドスのまとめです。教区で
は、この提言集を元にし
て、それらの提言を實踐す
べく3部会（信仰、典礼、
宣教）に分けてそれぞれに
会議を持ち、話し合いを進
めてきました。

7月12日(日)午後、教
区の財産管理及び基本的財
政政策に関して司教の諮問
にこたえる「教区経済問題
評議会」が教区本部を拠点
として開かれた。

神父ら5人が集まり、その
他は自宅からのウェブを通
じての参加となった。

そして、それぞれの部会
での会議が2回終了した段
階で、6月の全司祭・助祭
集会（コンベンツ）でそ
の結果を分かち合い、課題
を共有しました。今回は、
その分かち合いを踏まえ
て、今後の進め方のポイン
トを提言したいと思いま
す。ポイントには3つありま
す。

1. シノドスの提言を實
踐に移すために、シノドス
に参加した皆さんには、3
つの部会のいずれかのメン
バーになって話し合いを続
けていただきます。それ
ぞれの行われた2回の会議
の結果、浮かび上がった点

具体的には、来たるべき
主日の福音の箇所をグルー
プの中で読んで、それぞれ
の感想を分かち合うこと
です。鹿兒島教区では幸い、
班制度が敷かれています。
で、班集会の中で必ずこの
「神の言葉の分かち合い」



「小教区から遊離した存
在で、常に小教区に指示を
出す」という性格であつて
はなりません。むしろ、各
小教区から最低1人以上の
人が、いずれかの部会に参
加して欲しいと思います。

「カトリックの信仰」復活へ
鹿兒島教区が要理書とし
て1981年に発行した
「カトリックの信仰」は、
教区司祭評議会の要望に竹
山昭神父(当時40歳)がこ
たえる形で執筆したもの。
目的はその3年前(197
8年)に、教区の全司祭に

用の一部に充ててきた教区
の収益事業の一つ、書籍等
販売の「ザビエル書院」を
今年度から教区管轄とす
ることで教会側の負担をな
くすこと、奄美大島地区で
管理している現金・預金に
関しては鈴木神父(奄美大
島地区会計担当)と教区会
計が密に連絡を取り、正常
に運用することなどが確認
された。

また今後、教区予算作成
のための会合を持つことや
教区所有の不動産について
も有効活用できるように話
合う場を持ち対応すること
などを申し合わせた。

シノドスニュース

▼奄美大島地区

奄美大島地区宣教司牧を
考える会では6月21日の総
会で、昨年の教区シノドス
の提言課題に取り組みた
め、信仰部会、典礼部会、
宣教部会、財政委員会の各
部からの代表者によって構

また教会については
「私はこの岩(ペトロ)の
上に私の教会を建てる」
(マタイ16:18)をイエス
自身が言っています。つま
り、教会は私たち信者のこ
とであると同時に、イエス
自身のものであるというこ
とです。

神様の祝福が豊かにあり
ますように、アーメン

▼宣教師部会

宣教師部会(部会長・頭島
光神父)は、6月14日
(日) 谷山教会で第2回目
の会合を開き、青年部門、
一般社会部門、家庭と高齢

▼典礼部会

典礼部会(部会長・栃尾
泰英神父)では7月19日
(日) 教区本部での会合
で、今年のキリスト教伝来
祭等について検討した。

▼坂本進神父

坂本進神父(阿久根教会
主任)は、教区本部付
▼鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

▼鄭成深神父

鄭成深神父(出水教会主
任)は、阿久根教会主任
兼任

差別主義と平等主義 (5)

紫原教会主任司祭

山口好信

先月号まで西欧中世世界の中の教会について、荒削りですが、述べてきました。教会の内部はどんな様子だったのでしょうか。

文明史家ポミアンによると「大聖堂の内部構造は、身分に分割された社会の様を再現していた。聖職者の場と俗人の場が分けられ、俗人の場には、貴族、市民、下層民それぞれの場が確保されていた。：礼拝の場であるだけでなく、公共の場でもあった大聖堂は、その点で領主の住居である城や館、都市役人の拠点であり平民は暴動の際にしか入れない市庁舎とは異なっていた。これらの建物のそれぞれの規模は、諸権力の階層や、優越をめざす聖職者たちの主張を目に見える形で表現していた。：封建社会では、個人どうしの関係は本質的に階層化されていた。」

また「中世の礼拝堂の様子は：たとえ、今、ヨーロッパの古い教会を訪ねてみると、どこにも会衆が座る重い木の長椅子がある。教会に集まった人たちは、礼拝の時もそれ以外の時も、この椅子に座って祈りを捧げる。ところが、宗教改革以前の礼拝堂には、このような椅子は用意されていなかった。民衆はいわば「立ち見の観客」であり、礼拝やミサが執りおこなわれる間、ただ立って見ているだけだった。礼拝もミサもすべてラテン語。その時々に行われていたのか、神父は何を唱えているのか、その意味を理解する

必要はなかったのである。：民衆はそういう教会に与っては脇役、あるいは添え物に過ぎなかったのだから」（徳善義和）。

教会はキリストにおいて（一つの体）であるはずなのに、聖職者は聖なる存在、一般信徒は俗人という階層社会となりました。

「ミサにおいて、聖職者を一般の人々から引き離す点で、劇的とも言える進展があった。ミサはこれまで、その土台となる食事の形式を保ってきたが、初代においてすでに共同体全体の行為としての原初的人格から徐々に離れ始めていた。：民衆は次第に全体的参加という立場から除外され、ミサはもっぱら司祭の仕事となり、人々は観客の立場に置かれるようになった。中世のミサにおいて、司祭はもはや以前のように普段を着ることはなく、代わりにずつしりと重い刺繍で飾られた祭服（カズラ）を着け、綺麗に装飾された内陣に入り、人々には理解できない言葉でつぶやくように祈り始めるのであった。もはや人々には聖別のために自分達の普通のパンを持つて来ることは許されず、代わりに司祭は、貨幣の大きさに焼かれた種なしパンを聖別した。以前やっていたように、立ったまま手でそのパンを頂くことは許されず、跪いて舌の上にそれらをのせてもらわなければならぬ。カリス（杯）の方は祈りを差し止められてしまった」（ポーケンコッタ）。

現在まで続いているこういった状態は、イエスが意図した教会の姿なのであるか。

同様のことをプロテスタントの典礼史学者のナーゲルも、10世紀頃のフランク王国のこととして幾つかの祈禱の特徴を述べてから「高度な文化の言語としてラテン語に固執したことはミサの典礼を教職者たちの聖域としてしまった。次の数世紀の間、礼拝司式者が聞き取れないほど低い声で祈る多くの祈禱は、礼拝のこのような発展をますます推進する結果となった。今やカノン（ミサの奉獻文）は小声で行なうのが一般的

となった。礼拝での教職者と一般信徒との分離はついに礼拝堂の内陣の仕切格子の設置によって誰の目にも明らかとなった。：その結果、秘跡の執行における現在の秘跡は、奉獻の会食形式を後退させることを余儀なくした。秘跡は祭壇のはるか遠方から、恐れと礼賛をもって体験され、そのような仕方では救いの働きにあずかることになり、次第にそれが礼拝会衆の礼拝祭儀の内容となった」と。

またナーゲルも「中世のミサの内容の発展として重要なのは1200年頃すでにコミュニティ（聖体拝領）の際にカリス（聖杯）は渡されずホステア（聖餅）のかたちで種なしパンだけが与えられたことである」と述べています。

以上のように、教会は使徒信条の言うような神の前

に各人対等な「聖徒の交わり」ではなく、聖職者が独占し一般信徒を俗人としてミサ参加などの掟を課して支配する組織になってしまったのである。

教会に行けば神の前に皆平等というのではなかった。社会の身分秩序がそのまま教会内に持ち込まれたのです。大多数の下層民は無学文盲であり、聖職者が文字を持ち、聖書を独占し、教会内では日常語ではなく意図的にラテン語を使った。そもそもキリスト教や聖書を積極的に教えようとしていなかった。カタリ派などの異端が蔓延した頃の1229年にはトゥールーズ教会会議で信徒が聖書を読むことを禁止したし、「俗人信徒が新約・旧約聖書の書巻を所持することを許してはならない。ただし敬虔の念から讃歌集、福音

「主の日」の大切さを忘れないで！

コロナ感染広がる中でザビエル教会の対策

6月下旬から7月上旬にかけて新型コロナウイルス感染者数が激増した鹿児島県。特に集団感染の原因となった店舗がある鹿児島市では、感染経路不明な人の数も増えるなど市中感染の危機も叫ばれている。

鹿児島教区では主日のミサについては、各小教区において事情がそれぞれであるため、あえて「教区としてミサ中止や実施方法を指しせず、主任司祭と信徒が話し合い、相応しい対応で主日のミサをどのようにするのか決めて欲しい」としてきた。

そんな中、カテドラルであるザビエル教会では次の

ような対策を講じ、ミサをささげている。

5月10日（復活節第5主日）から教会では、主日のミサ（午前9時）を班ごとに三つのグループに分けて実施している。もちろんミサに参列する際は、マスク着用とし、聖堂に入る前に入口での相互検温を勧め、発熱の症状がある人の入室を自粛してもらっている。

また入室時には、手指の消毒が義務付けられ、聖堂内でも一人ひとりの距離を確保するため、一列おきに黄色の紙が貼られた座席にしか座ることができないよう定めている。また聖歌は、保菌者がいた場合を想

に各人対等な「聖徒の交わり」ではなく、聖職者が独占し一般信徒を俗人としてミサ参加などの掟を課して支配する組織になってしまったのである。

教会に行けば神の前に皆平等というのではなかった。社会の身分秩序がそのまま教会内に持ち込まれたのです。大多数の下層民は無学文盲であり、聖職者が文字を持ち、聖書を独占し、教会内では日常語ではなく意図的にラテン語を使った。そもそもキリスト教や聖書を積極的に教えようとしていなかった。カタリ派などの異端が蔓延した頃の1229年にはトゥールーズ教会会議で信徒が聖書を読むことを禁止したし、「俗人信徒が新約・旧約聖書の書巻を所持することを許してはならない。ただし敬虔の念から讃歌集、福音



参列して距離を確保する人々

定し、歌うことでウイルスが拡散することを防ぐために「歌わずに唱える」工夫がされている。

このほか、ザビエル教会では聖堂を閉め切つてエアコンを動作させることによるウイルス拡散の危険性から、ミサの際は窓等を開放した状態とし、またエアコンも風量を「弱」にして使用している。このほかミサ参列者は、聖堂に入る前に名簿への記載が義務付けられている。これは感染者や濃厚接触者が出た場合にその経路が追えるようにとの配慮からという。

主任司祭の小隈憲士神父は、「自由にミサにあずかることができないうこと、信徒の皆さんも辛いなと思う。主日のミサに参列できない場合は、霊的聖体拝領をすることが勧められる。祈りやロザリオ、霊的読書、善業

などがそれにあたると思う。大切なことは、日曜日が主の日であることを忘れないということ。有意義な過ごし方で、主の日の恵みを実感して欲しい。皆で祈り、万全の対策を取りながらこの困難を乗り越えたい」と語った。

大笠利教会建設のための募金振込先
 ゆうちょ銀行
 ・郵便振替番号：01770-4-171911
 ・加入者名：カトリック大笠利教会建設委員会

問い合わせ：カトリック大笠利教会
 TEL0997 (63) 8108 FAX0997 (63) 8116

徳之島地区教会3人目の助け手誕生へ

重久知司さんが終身助祭候補者に



重久知司さん

徳之島の母間教会(主任司祭・福崎英雄神父)では6月28日(日)、中野裕明司教様をお迎えして、10時からミサの中でアウグスティヌス重久知司さんの終身助祭候補者認定式が行われました。

私たちは徳之島の信徒にとっては、3人目となる助祭として重久さんを生み出すために、信徒一同、昨年からは心一つにして祈り続けています。そのためにこの日の喜びはひとしお。ミサの説教で中野司教様は「助



祭を指す原語の意味は奉仕職そのものを指しており、初代教会の頃、使徒たちを助け、教会への奉納物を人々に分配する役割を担っていた」と説明してくださいました。助祭候補者として認定された重久さんが今後、朗読奉仕者、祭壇奉仕者の選任を受け、めでたく叙階の日を迎えられるよう、一にも二にも祈らなければなりません。どうか教区の皆様も私たち徳之島地区教会のために祈りくださいますようお願いいたします。

ごミサの後には、信徒による一品持ち寄りの昼食会が開かれました。テーブルの上には沢山のご馳走がいっぱい並び、デザートには

イエス様が会堂長ヤイロの娘を生き返らせるお話は共観福音書すべてに見られます。話の概要はどれも同じなのですが、マルコ福音書にのみ特徴的な言葉が見られます。それは「イエスはその話(娘が亡くなったこと)をそばで聞いて、『恐れることはない。ただ信じなさい』と会堂長に言われた。」という中の「そばで聞いて」という言葉です(5・36)。

この言葉を直訳すると「聞き流して」となります。つまり、イエス様は会堂長

よもぎ餅、ドーナツ、パッションフルーツやスイカなど：盛り沢山。美味しいものを沢山いただきましたので、信徒たちの祈りにも熱が入り、また重久さんも頑張ってくださいさるだろうと思うことでした。

現在、徳之島地区教会を司牧するのは福崎神父様お一人。徳之島、沖永良部島、与論島を担当し、また幼稚園の園長先生も務められています。とても大変な様子ですが、本当によく頑張ってくださいています。私たち信徒は感謝の心でい

階式を迎えられることができ運びになりましたら、どうぞ徳之島に足を運んでください。島には10の巡回教会があります。教会めぐりなどしてはいかがでしょう。ご案内いたします。また認定式の前日の27日(土)には、午後からレジオ・マリエの集いがありました。中野司教様も加わってください、多くのことを学ばせてくださいました。本当にありがとうございます。(徳之島・順 秀子)

+KABAYAN SEKSYON+
Pamilya: Sentro ng Pag-eebanghelyo
 Sa ikaanim na kabanata ng Amoris Laetitia (Ang kagalakan ng Pag-ibig), binibigyang-pansin naman ni Papa Francisco ang iba't ibang hamong pastoral bagamat inaamin naman niyang hindi siya nagbibigay ng komprehensibong plano para sa pamilya. Ayon na rin sa mga katuruan ng mga sinodo at ng nakaraang mga papa, binibigyang-diin ni Papa Francisco na hindi lang kailangang tumanggap ng pag-eebanghelyo ang mga pamilya kundi maging mga tagapahayag din ng Ebanghelyo.

"Sa bisa ng sakramento ng kasal, ang mga Kristiyanong pamilya ang mga pangunahing manggagawa sa apostoladong pampamilya, higit sa lahat sa pamamagitan ng buong-galak nilang pagpapatotoo bilang mga simbahang pambahay." Bunga nito, mahalagang maranasan ng mga tao ang Ebanghelyo ng Pamilya bilang kagalakang pumupuno sa mga puso at mga buhay" (b.199).

Tinitiyak ng Papa na "Hinahangad ng Simbahan, nang may pagpapakumbaba at pagmamahal, na maabot ang mga pamilya at tulongan ang bawat pamilya na matagpuan ang pinakamagaling na paraan" upang maitampok ang "pag-eebanghelyo at katekesis sa pamilya" (b.200).

Para sa Papa, "ang pangunahing tulong para sa pangangalagang pastoral sa mga pamilya maipagkakaloob ng parokya, na siyang pamilya ng mga pamilya, kung saan nabubuhay ang mga munting pamayanan, kilusang pansimbahan at samahan". Isang napakahalagang bahagi ng misyon ng Simbahan ang pag-eebanghelyo sa mga pamilya.

Ang Parokya-Pakikipag-isa ng Komunidad (Fr.Dino)

言者エリヤと同じことを為し得るはずでです。つまり、イエス様ご自身はこのことを分かっていたからこそ、会堂長の家からの使いの者たちの言葉を「聞き流して」い

《康由神父の聖書教室(28)》

死者を生き返らせた奇跡



病気で亡くなったサレプタのやもめの息子を生き返らせたこと(列王記上17・17)は、神の独り子であるイエス様は当然のことながら預

たのかもしれない。問題となるのはこの後です。エリヤの奇跡を目の当たりにしたやもめは、エリヤに向かって「今わたしは分かりました。あなたはま

もしエリヤのことを思い起こすのであれば、人々の口にはやもめと同じような言葉が上るはずでです。そして、イエス様を神の独り子であると信じていることではない。こうしたことを考えると、福音記者マルコはイエス様の「そばで聞いて、」即ち、「聞き流して」という態度を踏まえ、人々の「驚きのあまり我を忘れた」という反応によって(5・36、42)、イエス様を信じ切れな

会と催し 8月

- 1日(土) ウォラ神父叙階記念日(2005年)
- 2日(日) 年間第18主日
- 3日(月) ルーシン神父命日(1994年)
- 4日(火) 李秉徳神父霊名(聖ビアンネ)
- 6日(木) ▼みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時 主の変容
- ▼カトリック平和旬間・15日まで
- 1981年、教皇ヨハネ・パウロ2世は広島で、「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」と述べられました。戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。そこで日本のカトリック教会は、その翌年、もつとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と定めました。
- 「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信者が集まり、「平和祈願ミサ」がさざげられます。各教区でも、平和祈願ミサや平和行進、平和を主題とした映画会、講演会、研修会、平和を求める署名などが行われます。
- 小平卓保神父命日(2005年)
- 田原章神父、宋診旭霊名(聖ドミニコ)
- 年間第19主日
- 8日(土) 聖ラウレンチオ助祭殉教者
- 9日(日) 聖母の被昇天
- 10日(月) キリスト教伝来記念祭・各小教区
- 15日(土) レジオアマリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時
- 16日(日) 年間第20主日
- 19日(水) ▼レジオアマリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時
- 23日(日) 年間第21主日
- ▼オリブの会及び共にこの道・教区本部・14時
- 24日(月) 聖バルトロマイ使徒
- 26日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
- 28日(金) 山口重義神父命日(2016年)
- ▼オーバン神父命日(1988年)
- ▼橋口啓悟神父、鈴木康由神父霊名(聖アウグスティヌス)
- 30日(日) 年間第22主日
- ▼ペルリーニ神父命日(2008年)
- 【司教日程】5日広島教区平和行事(6日まで)、15日キリスト教伝来記念祭ミサ、19日中野アカデミー、23日紫原教会訪問、26日中野アカデミー
- 祈りの意向
- 【祈祷の使徒会】 世界共通 海に携わる人々 日本への教会 平和への決意

